

コンディショニング機器による 運動器疾患へのアプローチ

セミナー概要

演題 「イーポレーションPRの超音波療法との比較検討結果と
レセルボディとイーポレーションPRの当科での使用方法紹介」

日時 2018/9/1
土曜日 16:00~18:00

定員 50名

参加費 無料

会場 大阪柔整会館
(大阪市西区靱本町3-10-3)

- ▶ 第1部 16:00~17:00 杉本先生による講演
- ▶ 第2部 17:00~18:00 デモンストレーション

要旨



医療法人貴島会 ダイナミックスポーツ
医学研究所 室長

講師 杉本 拓也 先生

当科は2015年より、イーポレーションPR（以下PR）を使用している。また2016年には、PRの有効性調査として、超音波療法（以下超音波）と比較検討した。対象は肩こりの自覚症状を有する成人女性30名であった。調査項目は血液酸素動態、頸部の関節可動域（以下ROM）、肩こりの自覚症状（以下VAS）とした。結果は、血液酸素動態、ROM、VASのすべての項目で超音波と同等の結果を得た。以上のことから肩こりを有する者に対して、非常に有用な機器であることが示唆された。

PRの当科での使用法は、ROM制限がある症例に多く使用している。特に肩関節周囲炎や肩関節脱臼術後のROM制限や足関節捻挫後の背屈制限がある症例に有効であった。

他方、レセルボディは筋緊張が高い症例に対して有効であり、筋膜リリースの機器として優れている。具体的には筋々膜性腰痛症（非特異的腰痛）の腰背部筋緊張の軽減、ハムストリングスの肉離れ後のタイトネス軽減に有効であった。

どちらの機器も使用後の患者からは、「楽になった」「痛みがましになった」など効果を実感した感想が多い。

PR、レセルボディは運動器疾患に有用な機器であり、価格も超音波と比較しコストパフォーマンスが高く、導入しやすい機器であると考えられる。

本セミナーでは上述したPRと超音波との比較検討した内容の詳細と、当科での両機器の使用法を紹介する。



セミナーご参加申込書 ※8/25(土) 申込み締切

フリガナ		フリガナ	
貴院名		代表者名	
TEL		その他の参加者	
E-mail			
ホームページURL			
住所			

● ご参加申込は「大阪府柔道整復師協同組合」まで **FAX：06-6444-0773**

● セミナー内容に関するお問い合わせは「株式会社ユニッシュ」まで **TEL：06-4707-7100**